

平成29年度 第3回八潮市外部評価委員会 議事録

開催日時	平成29年11月13日(月) 午後1時30分から午後4時50分まで	開催場所	八潮市役所 別館 A 会議室
出席者 (敬称略)	委員長: 島根 秀行 委員: 若尾 岳志 清水 努 竹本 美恵子		
欠席者 (敬称略)	岡 薫	傍聴者数	1人
審議内容及び審議結果の概要	平成29年度 第3回八潮市外部評価委員会 1. 開 会、あいさつ 2. 議 事 (1)外部評価 ①八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ(指定管理) ②八潮市障がい者福祉施設わかさ(指定管理) ③八潮市障がい者福祉施設虹の家(指定管理) ④八潮市知的障害者生活サポートセンター(指定管理) 3. その他 4. 閉 会		
提供資料	資料5 平成29年度 第3回八潮市外部評価委員会 次第 資料6 平成29年度 第3回外部評価委員会 外部評価シート 資料7 平成29年度 第3回外部評価委員会 年次事業評価シート 参考資料3 外部評価シート【年次事業評価編】における評価基準 参考資料4 年次事業評価シートの変更点 参考資料5 自己評価表 参考資料6 業務履行評価表 参考資料7 指定管理者制度の業務に係る事業の評価(年次事業評価)について		

【議事詳細】

平成29年度 第3回八潮市外部評価委員会

1. 開会、あいさつ

2. 議事

(1) 外部評価

①八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ(指定管理)

・若尾委員

休館日について教えてほしい。

・事務局

祝日と年末年始を休館日としている。

・若尾委員

当該施設で勤務している職員の人数について教えてほしい。

・事務局

正規職員が1名、非常勤職員が5名である。平日は6人全員が出勤することもあるが、休日は4人で対応するなど、人数を減らして対応している。

・若尾委員

正規職員と非常勤職員の業務内容は異なるのか。

・事務局

基本的な業務内容は変わらないが、正規職員は社会福祉協議会としての業務が含まれる。

・清水委員

当該施設は、「八潮市身体障害者福祉センター条例」第12条において、指定管理者に対して、利用料金を納入しなければならないとあるが、先ほどの説明では利用料金を徴収していないとの説明であった。このことについて教えてほしい。

・事務局

条例では、利用料金を徴収する事業を行う場合について、その金額の上限が定めてある。現在、当該施設で行われている事業の性質上、利用料金の徴収は行っていない。

・清水委員

資料7、2ページ「管理経費の収支状況」の中で、維持管理費について教えてほしい。

・事務局

建物の一部を、社会福祉協議会が使用しており、これ以外の部分についての施設維持管理に費用がかかっている。

・清水委員

資料7「平成29年度 第3回外部評価委員会 年次事業評価シート」2ページ、「施設の利用状況」の来館者数が減少しているのはなぜか。

・事務局

当該施設は、障がいの度合いが重い方の受入ができる体制をとっておらず、また、年齢が若い方については、就労施設を利用するケースが多いので、障がいの度合いが比較的軽い高齢者が多く利用している。

そのため、体の衰えに伴い、当該施設から、介護保険制度を利用したデイサービス施設に移る傾向にある。

このような状況にあるため、利用者が減少している。担当課としても課題として認識しており、今後、もう少し対象を広げるなど検討している。

・清水委員

資料7、3ページ「③個人情報の保護」に関して、個人情報の漏洩を防ぐために行っていることについて、具体的に教えてほしい。

・事務局

利用者の個人情報が記載された台帳については、鍵のかかる場所に保管している。

・島根委員長

資料7、3ページ「④利用者への対応及びサービス等の向上」にある、「職員育成のための研修は行われているか」について、どのような研修を行っているか教えてほしい。

・事務局

事務所における職場内研修として、関係法令についての研修や、職員全員で共通認識を持つための意見交換会を行っている。

・若尾委員

当該施設の利用者は、4月が多く、8月が少ないようであるがなぜか。

・事務局

時期によって事業内容が異なるため、利用人数の増減がある。

・竹本委員

講座の内容について、毎回同じではなく内容を変更しても良いのではないかと。

・事務局
検討する。

②八潮市障がい者福祉施設わかくさ(指定管理)

・清水委員

当該施設で提供するサービスの対象者について教えてほしい。

・事務局

障害支援区分3以上の知的障がい者の方を対象としている。

・清水委員

当該施設を利用できる人数は決まっているのか。

・事務局

定数は20名である。また、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」により定数の150%までは受けられることとなっている。

・清水委員

資料7、6ページ「活動指標」、「成果指標」は市が設定しているのか。

・事務局

そのとおりである。

・清水委員

人件費が上昇していることについて教えてほしい。

・事務局

人件費が上昇した要因としては、平成28年度は、前年度と比較し、施設利用者の人数が増加しており、これに合わせて職員の配置人数も増加したためである。

・清水委員

当該施設の所有者は誰か。

・事務局

市が所有している。1階部分は当該施設として、2階部分は八潮市立わかくさ学童保育所として使用している。

③八潮市障がい者福祉施設虹の家(指定管理)

・若尾委員

当該施設で提供されるサービスの対象者について教えてほしい。

・事務局

主に知的障がい者を対象としており、就労継続支援B型という、一般就労の難しい方が軽作業等の仕事を行う施設である。

・若尾委員

当該施設の利用者は、特別支援学校等を卒業した方が多いのか。

・事務局

そのとおりである。

・若尾委員

施設利用者が行う作業内容について教えてほしい。

・事務局

箱の組み立てや袋詰め等の作業を行っている。

・若尾委員

作業内容について、市は関与するのか。

・事務局

関与しない。

・清水委員

作業により得られた収入は施設利用者に分配するのか。

・事務局

そのとおりである。作業日数に応じて、分配している。

・清水委員

作業収入の分配が正しく行われているかについて、市は確認をとっているのか。

・事務局

通帳等により確認をしている。

・清水委員

利用者満足度に関するアンケートは、誰が記入しているのか。

・事務局

アンケートは、利用者又はその保護者に配布しているため、どちらかが記入していると思われるが、アンケートに記入者名の欄を設けていないため、分からない。

・清水委員

訓練等給付費は利用人数や利用日数等によって支払われるが、市は、利用人数や利用日数についてチェックを行っているのか。

・事務局

利用者ごとに、利用日数について記録がある。全数のチェックは難しいが、一部を無作為に抜き出してチェックを行っている。

④八潮市知的障害者生活サポートセンター（指定管理）

・若尾委員

当該施設の業務内容について教えてほしい。

・事務局

生活サポート事業として、障がい者の一時預かりや、臨床心理士による学習指導・相談業務を行うための場の提供をしている。

・若尾委員

資料7、14ページ「活動指標」では、「対象となる手帳等級者数（療育）」が指標としてあるが、この人数はどのように算出しているのか。

・事務局

当該サービスを受けることができる人の中で、手帳の交付を受けている人の数である。

・若尾委員

資料7、14ページ「成果指標」では、「サービスの利用率」が指標としてあるが、このことについて教えてほしい。

・事務局

市内のサービスを利用できる人数に対して、サービスを利用した人数の割合である。

・若尾委員

当該施設の1日の利用者について教えてほしい。

・事務局

1日当たり10～15人である。

以上